

# 中小企業景気動向調査

## 業況はほぼ横ばい、来期はやや改善

### 景況天気図

	前期 2020.10~12	今期 2021.1~3	見通し 2021.4~6
全業種			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

← 良い 悪い →  
(天気図は、調査結果から総合的に判断し作成した。)

### 概況

緊急事態宣言が再度発令されたことにより、国内景気は引き続き厳しい状況である。緊急事態宣言解除後も、感染拡大防止策の継続や自粛ムードの長期化などにより、景気回復ペースは鈍化することが予想される。

### 今期（1月～3月）の実績

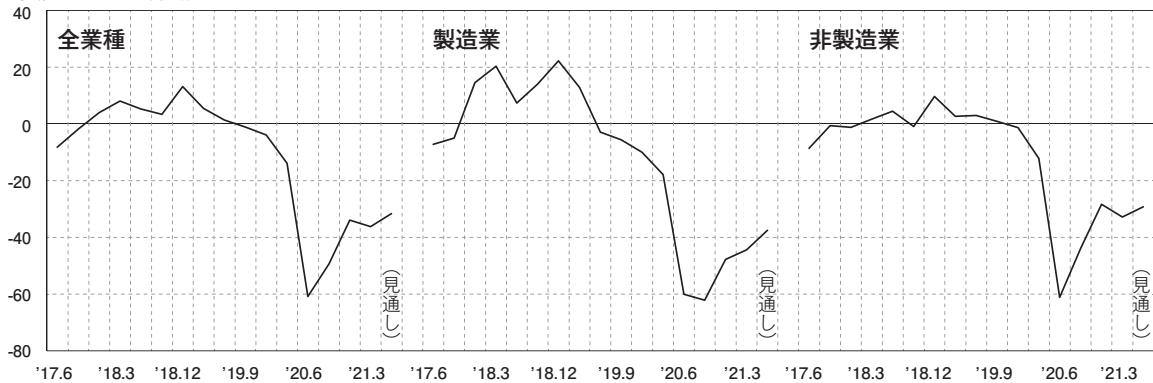
業況D Iは▲36.2でほぼ横ばいでした。前期比の売上額D Iは▲31.5、収益D Iは▲31.6とともに大幅に悪化しました。前年同期比の売上額D Iは▲42.0で横ばい、収益D Iは▲35.2でやや改善しました。資金繰りD Iは▲5.4で横ばい、人手過不足D Iは▲17.3で「不足」超となりました。設備投資実施割合は41.3%で、前期比4.6ポイント上昇しました。

価格は仕入価格D Iが20.7でやや上昇、販売価格D Iが▲5.4で横ばいでした。

### 来期（4月～6月）の見通し

業況D Iは▲31.6、売上額D Iは▲16.8、収益D Iは▲17.1とともにやや改善の見通しです。設備投資実施割合は35.0%で下降の見通し、価格は仕入価格D Iが23.6でやや上昇、販売価格D Iが▲4.4で横ばいの見通しです。

### 業況D Iの推移



### 調査要領

- ・調査時点 2021年3月上旬
  - ・調査依頼先 当庫取引先
  - ・調査方法 郵送調査
  - ・調査対象期間 2021年1月～3月（今期）  
（前期：2020年10月～12月）  
（来期：2021年4月～6月）
  - ・分析方法 「増加」（上昇）したとする企業の占める構成比と、「減少」（下降）したとする企業の構成比との差（D I）により分析を行った。
- ※ D I : Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

### 調査依頼先数と回答状況

	依頼先数	回答数	回答率
製造業	404	176	43.6%
建設業	329	110	33.4%
卸売業	206	80	38.8%
小売業	168	51	30.4%
不動産業	116	46	39.7%
サービス業	350	128	36.6%
合計	1,573	591	37.6%